

1年生と一緒にシャボン玉で遊んだよ。

先日、附属小学校の1年生と一緒にシャボン玉で遊びました。
初めに、1年生の教室に入り、ペアを決めて自己紹介をしました。幼稚園のみんなは、ちょっぴりドキドキしている様子でしたが、1年生がリードして、話してくれたので、だんだん心もほぐれ、笑顔が見えてきました。



小学校の広い運動場に出ると、最初に、1年生が大きなシャボン玉の作り方を見せてくれました。とても大きなシャボン玉で、みんなから歓声が上がりました。「うわー。すごい」「あんなに大きいよ。」「早くやってみたい」と、みんなやる気いっぱいです。



早速、ペアの友達と一緒に作ります。

シャボン玉の液も、自分たちで水や洗剤、砂糖などを入れて調整しながら作ります。1年生が「これぐらいにする?」「もうちょっと入れてみようか?」「もうすぐできるからね」と幼稚園の子どもたちに聞きながら、一緒に作る姿が見られました。



シャボン玉液ができると、早速シャボン玉を飛ばします。

でもなかなかうまくできません。その姿を見た1年生は、「これを使ってみて」「こうやってやるといいよ。見てて」と、シャボン玉の作り方を丁寧に教えてくれました。



幼稚園に帰ってくると、「楽しかった」「幼稚園でもやってみたい」と嬉しそうに話す姿が見られ、早速、廃材を使ってシャボン玉ごっこが始まりました。画用紙を丸めてストローに見立て、ヨーグルトの入れ物の底に水色のペンで塗りシャボン玉液に見立て、ふーっと息を吹きかけます。

「私のシャボン玉。見て。」

子どもたちの中では、とても大きなしゃぼん玉ができたことでしょう。顔を見合わせ、嬉しそうに笑っています。友達とイメージを共有しながら遊ぶことを楽しむ姿が見られました。



また、クラスでも、シャボン玉遊びをして、気付いたことやおもしろかったことなどを話し合ったり、1年生にお手紙を書いて、届けに行ったりしてきました。

「また一緒に遊ぼうね」「幼稚園にも遊びに来てね」「またね」と約束をしました。2 学期も交流を通して、幼稚園、小学校とともに、子どもたちの成長を一緒に育んでいきたいと思います。